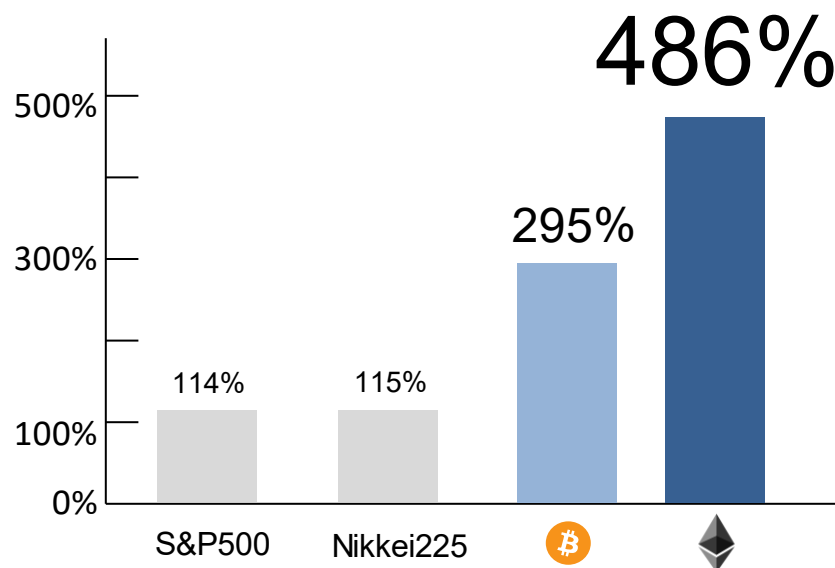


第7回DeFi勉強会

- 伝統的な金融商品と。2020年のパフォーマンスを比較して、金融商品としての暗号資産を評価代表的な株価指数と比較して明らかにビットコインやイーサリアムの方が好パフォーマンスの年となりました。

暗号資産(BTC,ETH) vs 株式(S&P 500,Nikkei 225)
(年初-12/16)



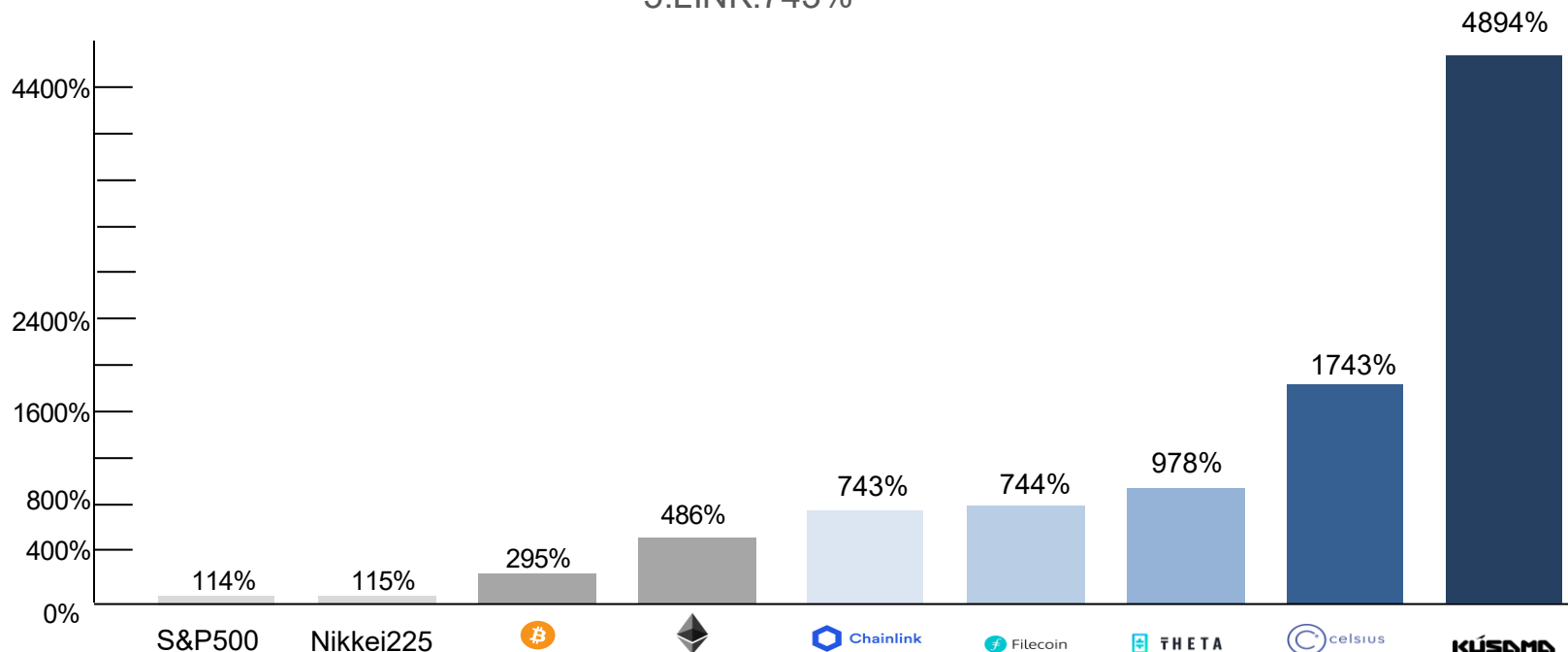
- 暗号資産※CoinmarketCapより引用
 - BTC:295%
7,200.17USD(2020/1/1終値)-21,310USD(2020/12/16終値)
※Coinmarket Capより引用
 - ETH:486%
130.80USD(2020/1/1終値)-636.18USD(2020/12/16終値)
※Coinmarket Capより引用
- 上場株式※Bloombergより引用
 - S&P500: 114%
3231USD(2020/1/2)-3694USD(2020/12/15終値)
 - Nikkei 225: 115%
23,205円(2020/1/6)-26,687円(2020/12/15終値)

- 日米ともに上場株式のうち年初来利益上位で600%～700%なのに対し、十分な流動性を持つ暗号資産(時価総額TOP50)のうち高パフォーマンス銘柄は4900%や1700%を記録する銘柄も出てきています。

2020年暗号資産年初来利益ランキング(年初-12/16)

※Coinmarket Capより引用

- 1.KSM:4894%
- 2.CEL:1743%
- 3.THETA 978%
- 4.FIL:744%
- 5.LINK:743%



- 第一回目はDeFi領域のオピニオンリーダーであるhoryさんを講師としてお招きし、お話いただきました。

■講師

hory 氏 ([@taisuke_hory](https://twitter.com/taisuke_hory))



■講演内容

DeFi入門及びDAI

■日時

2020年10月1日(木) 17:00 – 18:30

The presentation slides include the following content:

- DeFiの歴史**
 - 2015年 Ethereumの誕生
 - "Bitcoinは一種類に特化した電卓のようなもの"
 - "様々なアプリケーションが動くパブリックチェーンを作りたい"
 - 2016-2017年 DeFiの元祖? ICOとDEX
 - Ethereumを使って独自のトークンを発行し開発費調達
 - トークン交換アプリケーション、分散型取引所
 - 2018-2020年 DeFi 爆発
 - 2018年 "DeFi" コミュニティ誕生。トラストレスな貸借、投資信託 etc.
 - 2020年 Yield Farming(懸念な利息がつく資産)によりブーム
- DeFi (Decentralized Finance)**
 - 誰にでもオープン
 - 信頼すべき第三者不要
 - 新しい金融システム
 - 種類別: 暗号通貨, ブロックチェーン, スマートコントラクト
- DeFi(Decentralized Finance, 分散型金融)とは?**
 - パブリックブロックチェーンの特性を利用する金融アプリケーション
 - 管理者不在の匿名ネットワークで変えられるチェーン
 - トラストレス、検閲耐性、透明性
 - 資産移動に複雑で厳かな条件を付与できるスマートコントラクト
 - グローバルで公平性のある金融サービス
 - 誰にでもドル建てでの貯蓄を可能にする
 - ローンが受けられるようになる
 - 高度な資産運用も簡単にできるように
 - (理想には遠い、Step by step)
- DAIを支えるエコシステム**
 - パブリックブロックチェーンのノードに課せられると難しく、これらの利益参加者になるまで、パーミッションレスに開かれているのが大抵。
 - 責任持や社会的立場を問わない、誰か名前も知らない、単にインセンティブに従って動く個人の集まりによりシステムコインの安定性を実現する必要が有る。
 - Kepler, ユーザー
- DeFiは効率的に金融を開発できる**
 - スマートコントラクト: 処理や手順がわかる自動化! 元、全て事前精算されたコードになり自動化される。並行処理とコストが削減し、安い。
 - マユコレジ: 他人が書いたスマートコントラクトを勝手に実行し、その結果なプロダクトを生成する。最終的に全てを自動化する必要がある。
- ご視聴ありがとうございました!**
 - 難しかったかもしれませんが.....
 - 何でもぜひSNSやDM、メールで聞いてください!
 - @taisuke_hory, @hory_BTC, taisuke@kybal.network

- 前回に引き続きDeFi領域のオピニオンリーダーであるhoryさんを講師としてお招きし、お話いただきました。

■ 講師

hory 氏 ([@taisuke_hory](https://twitter.com/taisuke_hory))



■ 講演内容

DeFi入門及びCompound

The presentation content includes:

- JBA DeFi勉強会 Compound** (2020/10/15 hory 講演紹介 (Kyber Network))
- Compound - 分散型レンディングプロトコル**
 - 液体資産が世界、人たらず、匿名でプールを形成
 - スマートコントラクトに集中通貨やトークンを集める(元風玉)
 - 国籍/人種/信条/身分など一切関係なく参加
 - 選別資産を稼働させ、金利を得ることができる
 - 借りたい資産のプールを借りていく
 - 借りたい資産のプールを選び、そこから借りる
 - 国籍/人種/信条/身分など一切関係なく参加
 - 金利を支払うことで、借りた資産を利用できる
- Compound FAQ**
 - 貸出期間がありますか?
 - ありません。貸した資産はその時点での金利とともに、随時いつでも引き出せます。返済期限もありません。いつでもその時点での金利とともに返済。
 - 金利はどのように支払われますか?
 - 貸し出しから、借り手トークンに連動した利息が付きます。Compoundは基本的に、金利発生し、金利は自動的に貸主がもらいます。債上からで金利を表明します。cTokenと引き換えに、元本と金利を引き出せる仕組みです。
 - 利用にあたって、主なリスクは何ですか?
 - アップがあります。スマートコントラクトのバグやミスと、借け行きによる不良債権です。最近のリスク管理については別途します。
- Creamで観たこと**

ETH	8.20%	0.0000
USDC	55.45%	0.0000
DAI	1.42%	0.0000
WBTC	3.41%	0.0000
LINK	0.81%	0.0000
REP	2.73%	0.0000
YFI	0.21%	0.0000
UNI	24.84%	0.0000

 1. Creamには何らかの値上げプログラムがあるのではなかった
 2. それらを短期に貸しても借りられる
 3. トークン発行量が大量に新発行を
 4. 次第にトークン価値が下落して、暴落がとまらなかつた

■ 日時

2020年10月15日(木) 17:00 – 18:30

- HushHub Researchで主にパブリックブロックチェーンの調査及びトークン分析・設計等の業務をご担当されている平山翔氏をお招きし、ご登壇いただきました。

■講師

indiv 氏 ([@indiv_0110](#))



■日時

2020年11月5日(木) 17:00 - 18:30

■講演内容

UniswapをはじめとするAMMの類型

- ・ユーザー行動の変化
 - 資産のホームポジションの変化
 - 取引所からウォレットへ
- ・立役者となったのがMetaMaskとUniswap
 - UniswapはBancor型のAMMとして登場
 - 中堅取引所を上回る取引高を実現
 - 流動性提供は一般ユーザー

- ・目標① Uniswapを理解するためAMMの基礎を把握する
- ・目標② AMMの類型を把握する

- 2016年から暗号資産/ブロックチェーン業界にてご活躍されている、bitFlyer Blockchain 取締役/Head of Treasury の金光碧氏にご登壇いただきました。。

■ 講師

株式会社 bitFlyer

Head of Treasury dept. 金光碧氏
([@KanemitsuMidori](#))



■ 講演内容

取引所からみたDeFi

-日本でDeFiをビジネスにする上での課題-

- DeFiとの出会いとCompoundの紹介
- DeFiの定義、各種DeFiの紹介
- CeFiとDeFi
- DeFiと日本法
- 暗号資産取引所とDeFi
- DeFiの技術的課題
- DeFiと金融規制(特にAMLCFT)

■ 日時

2020年11月12日(木) 17:00 - 18:30

- 日本ブロックチェーン協会アドバイザーでもある、日本デジタルマネー協会理事の大石哲之氏にご登壇いただきました。

■講師

日本デジタルマネー協会理事
大石哲之氏

■日時

2020年11月26日(木) 17:00 - 18:30

■講演内容

クロスチェーンDeFi

クロスチェーンDeFiは始まったばかりということで明確な定義というものはまだできていないものの3つであるということの説明をいただき、

- 1.イーサリアム以外のプラットフォームでのDeFi
- 2.チェーンを跨いだDeFi
- 3.複数のチェーンのコインを利用できるDeFi

今回はその例として次の代表的な5つの例をお話いただきました。

- Pegged Token
- BSC
- Cosmos
- Polkadot
- Eth2.0

- 暗号資産/ブロックチェーン業界にて幅広くご活躍されている、創・佐藤法律事務所の斎藤創氏にご登壇いただきました。

■講師

創・佐藤法律事務所 齊藤 創 氏

■講演内容

DeFiと日本法

- 1.DeFiの全体像
- 2.Compoundの仕組みと日本法
- 3.AMMの仕組みと日本法
- 4.dYdXの仕組みと日本法
- 5.Maker DAOの仕組みと日本法
- 6.その他の論点

■日時

2020年12月3日(木) 17:00 - 18:30

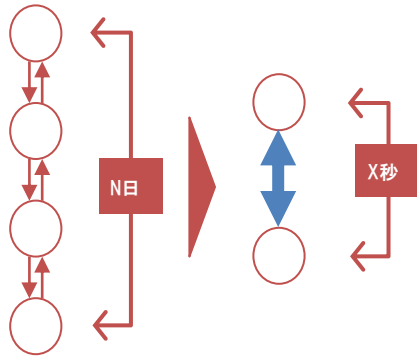
2. ブロックチェーンが金融領域に与える影響

confidential

- ブロックチェーンが金融領域に与える範囲は、インフラ刷新のため全領域となり、大きく3種類がある。

圧倒的な低コスト化

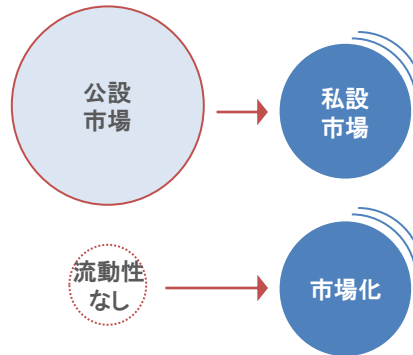
- 低コストなインフラに加え、オペレーション／リスクコスト低減／消滅



- 海外送金
- OTCデリバティブ／社債取引
- シンジケートローン
- など

民主化・ネットワーク化

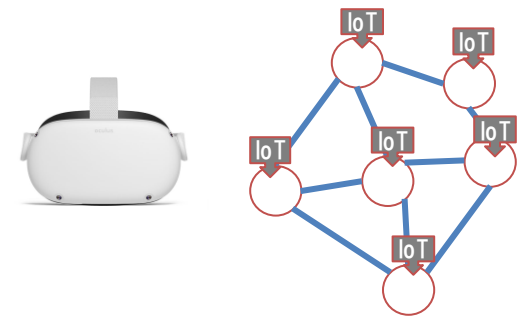
- 私設市場、決済・流通システム
- 取引コスト低減／流動性確保による資産等の価値向上



- 準通貨経済圏(暗号資産など)
- デジタル化アセット市場(非上場株・不動産・著作権等)
- トレーサビリティ型アセット市場(ダイヤモンド・中古車等)
- など

新規、ビジネス機会創出

- 新テクノロジー領域と組合わせた取引・決済基盤



- メタバース内経済圏
- IoT M2M決済(家電／車付帯サービス)
- など

3. gumiブロックチェーン事業

- 株式会社gumi Cryptosを設立し、ブロックチェーンに係る事業を吸収分割により承継。有力企業への出資及びコンテンツの開発を通じ、将来の収益基盤の構築を図る

 **gumi Cryptos**

投資事業

コンテンツ
開発事業

gumi
Cryptos

FINANCIE
フィナンシェ

 **double jump**
.tokyo

4. ブロックチェーン事業投資

- gumi Cryptos Capital匿名組合を組成し、仮想通貨・ブロックチェーン事業へ参入し、ブロックチェーン技術を用いたサービス等を提供する企業への投資を実行

gumi Cryptos Capital匿名組合の概要

1. 形態 商法上の匿名組合契約
2. ファンド総額 最大30百万米ドル
3. 存続期間 約3年間（営業者の裁量により最大2年間の延長あり）
4. 営業者の概要

商号	合同会社gumi Cryptos Capital
所在地	東京都新宿区西新宿4丁目34-7
事業内容	仮想通貨及びブロックチェーン技術を用いたサービス等を提供する企業への投資 等
設立日	2018年2月1日
業務執行社員	株式会社gumi Cryptos Miko Matsumura

5. DeFi業界地図

資産発行・資金調達プラットフォーム

取引・資産管理プラットフォーム

決済・クリアリング・カスティー

インフラ・プロトコル・レイヤー

Services サービス

gumi Cryptos Capital投資先

6. gumi Cryptos Capital投資企業一覧

	金融	マーケットプレイス	ゲーミング
資産管理	  	 	 
トレーディングプラットフォーム	 		
両替 / 決済	 	  	 
仮想通貨取引所 / ウォレット	 		
カストディー			
暗号資産データ分析			

7. DeFi関連投資先一覧

社名	類別	ビジネス紹介
Celsius	資産管理	<ul style="list-style-type: none"> 「暗号資産の銀行」 ユーザーは、Celsiusに暗号通貨を預けて、資産の利息を稼ぐか、担保としてローンを借りることができます
Qredo	カストディー	<ul style="list-style-type: none"> デジタル資産を安全に保管する分散型プラットフォーム 機関投資家が暗号資産を売買、取引、保管しようとするニーズを満たすことができます
Vega	デリバティブプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> トークン資産デリバティブプラットフォーム 流動性の低い市場をターゲットにしており、誰でも新しい金融商品や市場を作成することができます
Into the Block	暗号資産データ分析	<ul style="list-style-type: none"> 独自の機械学習モデルに基づいて、リアルタイムの暗号資産の動きに関する独自の分析とシグナルを提供するデータ分析プロバイダー
Idle Finance	資産管理	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーがプールに預けた流動性をレンディングプロトコルに自動的に資産を割り当てし、ユーザー資産最高の利回りを生み出す

7. DeFi関連投資先一覧

社名	類別	ビジネス紹介
Xanpool	暗号資産両替と決済	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア市場の法定紙幣と暗号資産の間のon-rampとoff-rampのサービスを提供してます。 現在、国境を越えた支払いと送金に焦点を当てた新製品XanPayを開発しています
Agoric	プログラミングレイヤー	<ul style="list-style-type: none"> JavaScriptでスマートコントラクトを作成できるようにするフレームワークを提供します Object-capabilityセキュリティ構築の運用でブロックチェーン金融系の開発を推進します
ABE	トレーディングプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> 主要な資産クラス(不動産、ABS、MBS、グロースエクイティ、IP、使用権など)ごとにトークン発行を行って、取引所のライセンスを取得し、世界中トレーディングできるようにします
Evercoin	仮想通貨取引所とウォレット	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー自身がカストディになり、暗号資産取引所とウォレットサービスを提供します
1Inch	DEX アグリゲーター	<ul style="list-style-type: none"> 流動性アグリゲーターであり分散型取引所です。ユーザーにとって最適な価格を見つけるために、複数の取引プラットフォームを接続します